



2024年度

☆日本語教師の海外コオプ・プログラム in ベトナム☆

観光学科 5214009 上山結音



○活動場所:ベトナム・ダナン

○期間:2025.2.23～3.29(5週間)

○目的:FPT大学の日本初級者の子に日本語を教える

○目標:自分と違う文化の方と関わりコミュニケーションスキルを向上させる。



○活動内容

1週目 FPT大学でBusiness Englishを受講

2～5週目 FPT大学で日本語教師のコオプ・プログラム

“一日のスケジュール”

9:00～9:20 出勤

9:30～11:30 2限 授業見学&アシスト

11:30～12:30 昼休憩

12:45～14:45 3限 授業見学&アシスト

15:00～17:00 4限 授業見学&アシスト

17:00～17:30 退勤



→このスケジュールに加えて、週1で担当の先生と個人面談をする。

先生と相談して、週に一回以上模擬授業を行う。

“模擬授業”

教材作りから始める。

30分～1時間行う。

基本は教科書で、クラスの進み具合を先生と相談して、教える部分を決める。

○得たこと、良かったこと

得たことは、学習者によって日本語のできるレベルの進捗度が違ったため、一人一人に合った教え方を心掛けていたことで、対応力やコミュニケーションスキルが向上した。

良かった点は、初めて会った時は、日本語での会話が全然成り立たなかった子たちが最後に近づくにつれて話せる単語が増えていき、日本語での簡単な会話ができるようになっていくところを間近で感じることができた。



○苦勞したこと、反省点

40人以上の学習者がいる前で、授業を行ったことがなかったため、どんな風にどう教えればいいのか何も分からず、苦勞した。

反省点は、クラスによって雰囲気や全く違うため、1パターンだけでの授業準備しかしていなかったが、クラスに合った授業準備をするべきだった。

○将来に向けてこの経験をどう役立てるか

仕事などで人と話す時、様々な対応力が身についたため、初めての方とお話しする場面があってもその方に合った言葉の使い方やコミュニケーションを取る自信がついた。



○将来このプログラムに参加する人へのアドバイス

事前にベトナムの文化や言葉を調べておいたのが、良いコミュニケーションを取ることに繋がった。



活動紹介動画

○印象に残ったこと

①毎日、授業中に突然始まるラジオ体操

②授業中に誰一人寝ない(授業時間2時間)

③最後の授業のカラオケ大会



○まとめ

行く前から楽しみだったが、行ってみると想像以上に様々な経験ができた。

約200人以上の学習者と関わることができ、教員という立場を経験して、自分の中で大きな成長を感じることができた。

